

## 越前町議会・令和5年9月定例会一般質問【笠原秀樹議員】

(令和5年9月7日 午前11時14分 開始)

○12番（笠原秀樹君） 8月30日、今年も町内の小・中学校の2学期がスタートいたしました。それと同時に、私の朝の登校の見守りも始まりしました。毎年、この時期思うんですが、長い夏休みの後、子どもたちは元気で登校してくれるかなというのを心配をいたします。幸いにして、私の地区の児童・生徒の皆さんは、おはようございますと元気な声で全員が登校してくれました。一安心したところでございます。うちの下の孫、小学校3年生ですが、明日から学校、楽しみやなど言いましたら、一年中夏休みのほうがよっぽど楽しみやわと、恐らくそれが本音でしょうね。先生にはそう言うなよとって論じて見送ったところでございます。

ただ、気になりますのは、いまだにコロナで全国160校からの学校が休校、あるいは学級閉鎖だと報道されています。町内の小・中学校、今年の登校具合を私は分かりませんが、この2学期も元気で過ごしていただければと強くお願いをするところでございます。

それでは、通告書に基づき質問をいたします。

まず初めに、在宅高齢者、いわゆる要介護認定を受けている人への外出の支援サービスについてお尋ねをいたします。

要介護認定を受けている在宅高齢者が施設に入れない、または自分は今家から出たくない、施設には行きたくないと、そういう人であっても、やはり住みなれた越前町で暮らしたいという願いは、そういう思いは誰でも同じだと思います。

要介護認定者、これは1から5までのランク付けをされていると思いますが、1人では移動ができない人がほとんどで、病院、あるいは施設への移動にはリフトつきタクシー、またスロープつきタクシーを利用をしておられます。利用料金、これは時間、あるいは距離などで決められているのだと思いますが、全て利用者個人負担となります。利用者が少しでも利用しやすく助成を行ってはいかがでしょうか。町長にお伺いをいたします。

現在、町では越前町の社協にこれを委託しておりますが、私も昨年と一昨年、社協の理事として総会等に出席をさせていただきました。その会議の中で、報告の中で年々利用者が少なくなっているという報告を受けております。これはやはり民間の施設、あるいは他の施設が、高齢者の方々によって利用がしやすくなっているからだと思えます。特に、今、社協は予約制、利用日の3日前には予約を入れなければいけない、当然、事前の登録が必要となります。急に今からお願いというわけにはいかない。また付添いが必要だと。土曜、日曜、祭日、また年末年始、これは利用できないと。いろいろ制約があるため利用がしにくくなっています。

また、チョイソコえちぜん号、これは非常に便利ですが、自宅から決められた停留所まで、そして当然利用される人は自分で歩くことができる人が利用可能、また町外には行きませんと。これも事前に登録が必要で、利用する2時間前までに予約が必要であると、いろいろ制約がございます。町としても社協に委託をしている以上、リフトつきタクシー、あるいはスロープつきタクシーに助成をすると、今度はさらに社協利用者が減少することになるかも分かりません。利用者の負担を少しでも軽くすることも大事かと考えます。また、他の市町の助成は

どうなっているのか、一緒にお伺いをしていきたいと思えます。

次に、災害避難時のペット対策についてお尋ねをいたします。

7月13日、豪雨災害で天王川地域住民に避難指示が発令されました。川の水位、私の住む田中地区では、恐らくあれ、あと2メートルぐらいやったと思いますが、それ以上降ったら越水するところまで達しました。何人かの人たちから連絡がありまして、ペットがいるので避難できないということで、連れていったらどうなるのか、またほかの避難者の迷惑にならないかなどでございました。

以前、私の家にもゴールデンレトリバーという大型の犬を飼っていたときがありました。これは、ちょうどそのときにも避難指示がありましたが、この子だけ残すことはできないと避難はしませんでした。もしその災害がさらに拡大し、命に危険が迫ることになっていたらと思うと、これは考える必要が出てくるのではないかと思います。今後について、町長の考えをお伺いをいたします。

また、ニュースでもありましたが、過去にペットがいるがために避難をせず亡くなられたお年寄りがおられるということも聞いております。越前町でも起こり得ることだと思いますが、いかがでしょうか。

また、現在、登録されているペット数がどれほどなのか。以前はペットと一緒に当然避難所には入れず、外にしなければならなかったと思いますが、いかがでしょうか。最近、避難所の中でも簡易テント等、プライバシー保護対策も取られています。ペットまでは無理があるかと思いますが、一緒に避難できる施設も必要だと考えます。そこで、他の市町の現状も踏まえてお答えを願います。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それでは、笠原議員のご質問にお答えいたします。

まず、外出支援サービス事業についてご説明いたします。

外出支援サービス事業は社会福祉協議会に委託しており、事業概要は公共交通機関の利用が難しい車椅子利用者や歩行困難な高齢者等で外出ができない方などを対象に通院や買い物などの送迎を行う事業です。

利用料金として、距離5キロまで520円、5キロを増すごとに260円が加算されます。社会福祉協議会には、委託料として令和4年度には110万4,000円を支出しています。

運転手は、現在18名の有償運転ボランティア登録がありますが、活動しているのは8名で車両は8台のスロープつき、あるいはリフトつき車両を利用しています。

令和2年の登録者数は68人、利用回数203回、令和3年の登録者数は60人、利用回数248回に対し、令和4年度の実績は登録者数が41人で利用回数は159回と減少しています。

利用者の減少の要因として、議員ご指摘のとおり、3日前からの予約制、原則としての土日、祭日の利用不可、付添い者が必要という制約があることや、当町の65歳以上の高齢者が令和2年をピークに減少していることも要因の一つであろうと思われま。

社会福祉協議会としては、有償ボランティア運転手の確保が困難となっており、これ以上のサービス拡充は難しい状況であると聞いています。

次に、他市町の外出支援サービス実施状況を説明いたします。

当町と同様の外出支援サービスを実施している市町は、越前市、高浜町、おおい町、若狭町の4市町です。その他の外出支援サービス助成としては、タクシー利用券の配布が大半を占めています。市町ごとに配布条件が様々であり、80歳以

上の在宅高齢者を対象としている自治体もあれば、65歳以上で要介護3から5に認定された在宅高齢者を対象としている自治体もあり、助成額も年間2万4,000円から1万2,000円と様々です。

なお、外出支援サービスかつタクシー利用助成を実施している自治体は、おおい町と若狭町のみです。また、当町が実施しているコミュニティバスの利用促進を兼ねた運転免許自主返納サポートを実施している市町もあります。

町としましては、今後の他市町の状況や高齢者のニーズを参考に、また路線バス、コミュニティバス、タクシー会社などの共存を図りながら、高齢者の利便性の向上と負担軽減に向けて検討してまいりたいと考えています。

次に、災害避難所のペット対策についてお答えします。

多くの方がペットを飼う昨今において、本町では、現在751頭の登録された飼い犬に猫などを合わせますと1,000頭を超えるペットがいるものと思われます。

こうした中、心配となるのは、議員ご指摘の災害避難時のペット対策です。災害時には自らの命を守る行動を最優先することが防災上の基本ですが、ペットがいることで避難をちゅうちょする、あるいは避難が遅れる方がいることは想定されることだと思います。

本町では、地域防災計画にペットを連れて同行避難した場合、県と協力して動物愛護及び環境衛生に努める旨の記載はありますが、具体的な内容は定められておりません。

一方で、県は、環境省が策定した災害時におけるペットの救護対策ガイドラインを推進しており、近隣市町では越前市が独自の避難所開設、運営マニュアルにおいてペットの同行避難に向けた平常時の対応や災害時の飼い主の責務や行政の対応を定めています。

本町においては、従来からペットの同行避難を拒んではおりませんでした。これまで実際に同行避難された方はおられませんでしたが、今後もペットの同行避難を受け入れてまいりますが、飼い主には騒音や臭いへの対策、排せつ物の処理のほか、避難所内でのトラブル防止に関する事など、他の避難者に対する特別な配慮が必ず求められます。平常時から生活環境の変化に対応するためのしつけや、餌や水など避難時の持ち出し品の準備を整えておくなど、飼い主としての心構えが重要であることを理解していただく必要があります。

町としましては、本来の目的である全ての住民の安全確保に向けて、ペットへの対応を含め避難対策に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（佐々木一郎君） 笠原秀樹君。

○12番（笠原秀樹君） 今、特に介護タクシー、1番の、これには具体的にこうしますというご答弁はいただいておりますが、利用している家族の方から、うちのばあちゃん、年金が少ないですと、何とか少しでもという気持ちがあったらということ相談を受けました。

越前町社協に委託をしている以上、あちらを立てればこちらが立たずということになるのは十分理解できます。私も間もなくお世話になる年になりました。自分になりたいから補助してくださいというのではないんですが、町長はまだお若いのですから、そんなあんたみたいなことは考えんわと思われるかもしれませんが、町長、いつまで町長をされているか分かりませんが、しまったな、お世話になるとき、あのとき決めておけばよかったなということになりませんように、ひとつ

ぜひともご検討いただければと思います。

町の社協のこれにつきましては、年々町長の答弁にもありましたように減ってきています。確かに民間の方の、うちの近くへも民間の車、何台も来られるんです、迎えにね。やっぱり違うんですよね、サービスの仕方が。あれだけやられると、やっぱりつついそちらのほうへ行ってしまうような気もするのも仕方ないかなと思うんです。社協の方々から、理事さん、1人でも紹介してくださいよと、こう言われるんですが、私もなかなかそういうようなのを見ると、返事だけはしておいて難しいのもあるのも現実だということも分かります。

確かに坂井市や、あるいは鯖江、勝山、こういうようなところもそんなに金額が高いもんじゃないんですよね。1万2,000円ぐらい、月1,000円、町長、それぐらいの金額だということをひとつご理解いただいて、少しでも、じゃ、考えようかなということがございましたら、ぜひともお願いをしたいと思います。

それとペット対策についてですが、例えばうちの家より立派な空き家があると思うんですよね。そこの空き家をペットと一緒に避難する、改築して、例えばの話ですから、とんでもないことを言うなあと聞いていただければ結構ですが、そういう空き家を改築して、ここはペットと一緒に避難する場所ですという越前町モデルがあってもいいんじゃないかなという気がいたします。長い時間かかるかもしれないですが、ご検討いただければと思います。

それと、ペットにもいろいろあります。犬、あるいは猫だけじゃなしにハムスター、それと蛇なんかもあるかもしれないですが、それら、本当にペットというよりも家族の一員というような感じで飼っておられる方がいるのではないかなと思うので、町長のおうちにもトイプードルですかね、飼っておられます。奥様のあのかわいがりようは、あれは恐らく町長よりもはるかにもうわんちゃんのほうに気持ちが行っているんじゃないかなと思うほどの溺愛ですよ、私が見た限りでは。恐らくあの子を置いて家族で避難できるかなと僕は思われるのですが、その辺のところを最後に町長に後からお聞きしたいと思います。

今、越前町にも虐待をされた犬とか猫を救護している、福井犬・猫を救う会というような会があるんだそうです。非常に野良犬に餌をやっているとか、そういう人なんかがいるということを口説いておられましたが、そういう方たちがもう自腹を切って、このNPOというのは補助金をもらっているのとはわけが違うんだ、自腹を切ってその犬猫を助けているという人たちがおられます。そういう人たちからも、いざというときに笠原さん、どうすればいいんでしょうねという問合せもございます。ですから、他の県でも市町でも、何とか今、そんな一緒に避難できる施設はないということでございますから、これはこのまま越前町ももう避難指示が出て、ぎりぎりのところで今まで助かってきている、本当に間一髪で助かってきているのが越前町だと思うんです。その辺のところもありますので、ぜひともその対策をこれから検討していただきますようお願いを申し上げたいと思います。

最後に、町長、今の件につきまして、ご答弁いただけましたらよろしく願いいたします。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） 今ほどの笠原議員の、うちにも確かにトイプードルを飼っております。私は猫派なんですけれども、うちの家内は犬派です。ですから、おっしゃるとおりの状況だのご想像にお任せしますけれども、実際、ペット、うちの場合でもちょっと例に挙げますと、やっぱりペットを連れて逃げる、避難することに

なると思いますけれども、そこにはやはり皆さんに迷惑をかけたら駄目やなという思いがまず大前提でございますので、西田中でいいますと生涯学習センターが避難場所になりますが、やはりペットを連れているということで、やはり個人的には違ったところへ個人的に車で避難するんじゃないかなということはペットを飼っている人はみんなそうではないかなと思いますけれども、それでは行政としては駄目な話なので、今後、このペットを連れての避難ということについてはさらに詰めていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 笠原秀樹君。

○12番（笠原秀樹君） 以前に避難指示が旧朝日町の最後の年でしたんですが、恐らく町長も消防団に入っておられて一緒に活躍、私がいたときだと思いますので、ありましたんですが、そのときはこの間の7月13日の水曜よりはるかに天王川、まだまだ増えた。私、堤防から手を洗った記憶があるんです、堤防で。それほど、もう30センチぐらいまで来たと思うんですよね。そのときにも避難指示が出ました。それで、避難された方、大型の犬を連れて生涯学習センターに避難されていたんですが中に入れない。それでずっと玄関に犬をロープでつないだままおられたんですよね。幸いにして、恐らく夜中の12時ぐらいに避難指示が解けました、水位が下がったということで。それでまだよかったんですが、それが2日なり3日なり続いた場合、その人たちはどうしたらいいのかなという、当時の理事者も迷ったんじゃないかと思います。

今後、難しい問題もあるかもしれませんが、ご検討いただきますようお願いをいたしまして質問を終わります。

（午前11時38分終了）